

国道401号博士峠工区の事業について



様式2

福島県会津若松事務所道路課
副主査 片寄友康

～福島県施工トンネル初！両側からの同時掘削による工期短縮の取組～

施工場所：大沼郡会津美里町松坂地内～大沼郡昭和村大字小野川地内

1. はじめに

国道401号は会津若松市を起点とし群馬県沼田市に至る延長220kmの幹線道路であり、沿線の住民の生活を支える重要な路線となっております。

しかし、大沼郡会津美里町と昭和村の町村境に位置する博士峠においては、幅員狭小、急カーブ、急勾配等により、著しく交通の支障となっていることに加えて、冬期間においては雪崩等の危険性のため、通行止めとなっており、道路交通上の大きな障害となっております。

このため、本事業は、博士峠部の道路改良事業を実施することにより、以下の整備効果が期待されております。

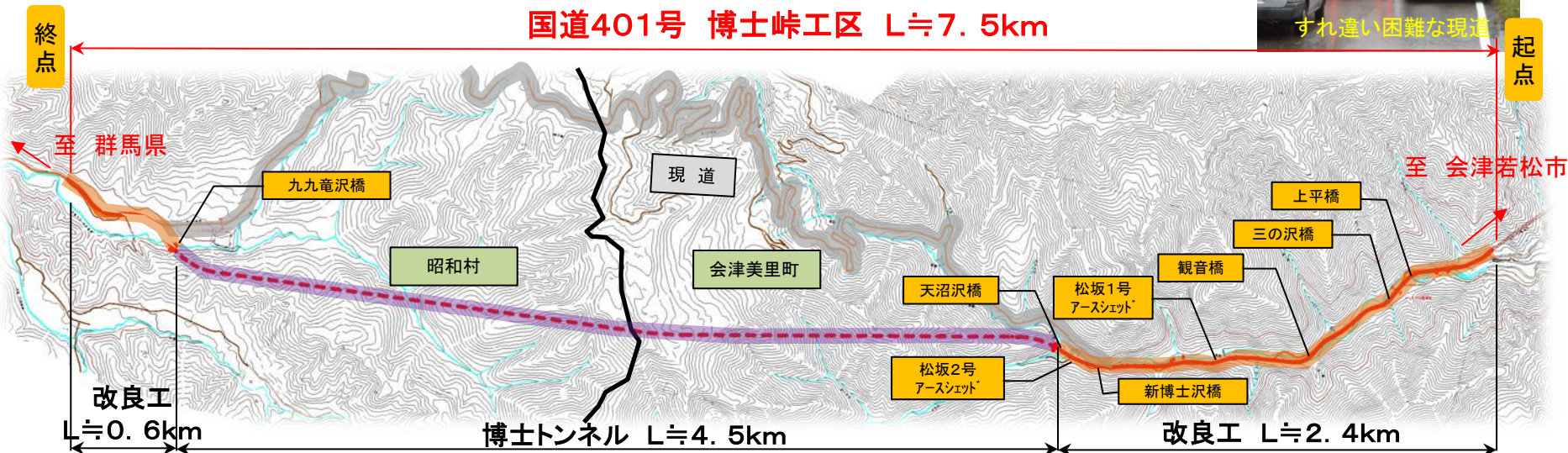
- ①冬期通行止めの解消と災害時の代替路の確保
- ②第3次救急医療施設へのアクセス向上
- ③地域振興の発展

2. 経緯

- 平成24年度 道路概略設計、地表地質踏査、費用便益分析
- 平成25年度 福島県公共事業評価委員会
- 平成26年度 事業採択
事業説明会
中心杭設置式
- 平成27年度 道路詳細設計、橋梁予備設計、トンネル予備設計、地質調査など
計画説明会
- 平成28年度 橋梁詳細設計、トンネル詳細設計など、用地買収
明かり区間工事着手
- 平成29年度 博士峠工区起工式
- 平成30年度 トンネル工事着工～
H30.11着工式



すれ違い困難な現道



3. 事業概要

全体延長 : 約7.5km
道路規格 : 第3種第3級
道路幅員 : 一般部 6.0(8.0)m
トンネル部 6.0(7.0)m
主要構造物 : トンネル 4,503.0m

※県管理トンネル最長
橋梁 6橋
アースシェッド※ 2箇所

※アースシェッドとは、設計対象荷重に土砂荷重を含むシェッドのことをいう。



トンネル掘削状況(機械掘削)



アースシェッド基礎工(深礎杭)施工状況

4. 進捗状況・創意工夫

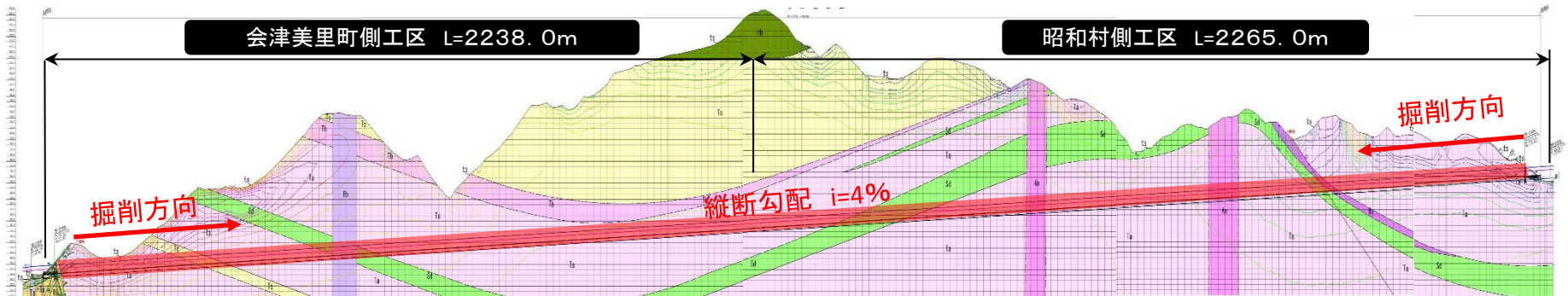
○進捗状況

一般部: 平成30年度中に全区間で工事着手予定

トンネル部: 延長4,503mのうち271m(会津美里町側: 146m、昭和村側: 125m)掘削完了。【平成31年1月23日時点】

○創意工夫

本トンネルの大きな特徴として、大幅な工期短縮を図るため、**福島県施工では初めてとなる両側から同時に掘削を進めております。**



5. 結びに

- ・工区内において多数の工事が同時に進んでいくことから、工事連絡協議会等を通じて引き続き工事間の工程調整を図っていきます。
- ・現場見学会開催など広報活動についても積極的に行います。
- ・供用開始後の維持管理のあり方についても検討を進めていきます。
- ・地元の期待が大きい道路であるため、工事の安全を最優先にしながら1日も早い供用を目指します。